



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN  
**佐土原ロータリークラブ週報**



**意識を喚起し  
 進んで行動を**

2000～2001年度 国際ロータリーのテーマ

**識字率向上月間**

第650回 平成12年 7月19日(水)

**〔本日のプログラム〕**

1. 点	鐘	次 回 予 告
2. ローターソング		★ 7月26日(水)
「それこそローター」		クラブフォーラム
3. 食	事	100万ドル食事
4. 会長の時	間	
5. 幹事報	告	
6. 委員会報	告	
7. 会長・幹事へ感謝状		★ 8月6日(日)
	贈呈	早朝例会
8. 点	鐘	(道路愛護デー奉仕活動)

**佐土原ロータリークラブ**

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会 長	梶田與之助
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	吉田康一郎
事務局	宮崎郡佐土原町大字下郡阿3887-17	幹 事	宮原 建樹
	☎880-0212	会 計	後藤 明夫
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員長	池田 仁志

## 第 6 4 9 回例会記録

(2000. 7. 12.)

### ☆会長の時間

会長 梶田 與之助 君

皆様 今晚は

本日は649回の例会です。

7月12日より13日の2日間、九州・沖縄サミット・宮崎外相会合が宮崎市のシーガイアサミットホールにて開催されています。

宮崎を日本及び全世界へ発信する大変意義のある会合であり、又、低迷する観光宮崎の浮揚の為の絶好の機会だと思います。

河野洋平外相は、紛争予防への日本の取り組み策として、

- ①紛争地域の復興支援を行う非政府組織への財政支援
- ②紛争予防に重点を置いた政府開発援助の実施

を表明する方針を固め、日本が紛争予防に積極的姿勢を示すことで外相会合やサミットの本番での論議で、主要8カ国を主導するのが狙いだそうです。

紛争予防は、冷戦終結後も世界各地で発生する地域紛争を未然に防いだり、紛争終結後の産業育成や教育などの復興支援を推進することで紛争の再発を防ごうという概念で、サミット外相会合では初めて、朝鮮問題、国連改革等、具体的な論議が行われているようです。

又、警備の方も5000人もの警察官の動員で、会場周辺を当たっておられ、暑い中、大変御苦労なことだと思います。

日本では初めて地方で開催の『九州・沖縄サミット』の成功を祈りたいと思い

ます。

さて、私事ですが、去る7月8日から2日間、三重県の伊勢神宮の参拝に出かけました。空路～リムジンバスと乗り換え、3時間半の行程で、宇治山田駅に到着後、タクシーで伊勢神宮、皇大神宮（内宮）へ参拝致しました。

内宮は荘厳な雰囲気は漂っており、とても緊張しました。神恩感謝や御祈願のお神楽を奏し、御饌をお供えしてもらいました。

古くから「神宮」と言えば伊勢の神宮を指します。それは最も尊いお宮だからとのことでした。神宮は皇大神宮（内宮）と、豊受大神宮（外宮）の両正宮を中心として、14カ所の別宮、109カ所の摂社末社・所管社から成り立っているそうです。次の日（9日）は伊勢朝熊岳金剛證寺（臨済宗南禅寺派）に参詣し、朝熊岳555メートルの山頂近くで、伊勢志摩国立公園の眺望の素晴らしさに魅了されました。

当山の開創は、約1,400年前の西暦570年に暁台上人が開き、平安時代には、弘法大師（空海）によって全山に塔堂が建ち並び、密教修行の大道場として隆盛を極めたそうです。

その後、仏地禅師が巡錫されて以来、禅宗として今日に受け継がれています。

NHKの大河ドラマ『葵三代』が放映されておりますが、徳川家康公は弘法大師と同じ寅年、寅の日、寅の刻に生まれた因縁により、ご本尊の虚空蔵菩薩を特に篤く信仰され毎年、百石の寺領を下賜され、徳川家代々の祈禱所とされました。

以上、2日間の伊勢神宮参拝旅行で得た知識(?)を皆様にご披露いたします。

## ☆幹事報告

幹事 宮原 建樹 君

### 例会変更及び休日通知

1. 7月21日(金)は「旧三役慰労会」のため、時間 18:00~に変更  
宮崎西 RC
2. 7月31日(月)は「年度始懇親会」の為、時間 18:30~  
場所 ホテル・プラザ館  
に変更  
宮崎南 RC

## ☆出席報告

委員長代理 田村 勝二 君

会 員 数	28名
例会出席者	20名
出席率	71%
マークアップ者数	3名
修正出席率	82%
欠席者名	嗣、棟、林(厚)、林(卓)

6ヵ月間無欠席者の記念品贈呈式を行います。

林(厚)君、福井君、梶田君、吉田君、伊東君、垂水君、江崎君、池田君、山脇君、濱田君、正岡君、田村君。

以上の皆様、よく努力されました。敬意を表して、粗品ですが、記念品を贈ります。

又、頑張りを、期待したいと思います。

## ☆米山奨学会

委員長 岩切 正司 君

今年度、当佐土原ロータリークラブに『米山奨学』という部会が新設され、私が委員長を仰せつかりました。

私は、米山奨学金の寄付募集を本年度の大きなテーマにしたいと思います。

ガバナーの公式訪問活動報告の中の一覧表を見てみますと、米山功労者(寄附¥300,000)に山脇会員2回、正岡会員1回が登録されております。

30万円とは言いませんが、せめてその10分の1、3万円のコースで1年間頑張ろうではありませんか。勿論1万円でもかまいません。

何とか皆様のご協力をお願い致します。

## ☆親睦委員会

委員長代理 吉田 康一郎 君

委員長の徳丸彰一君が欠席ですので、私が代理で報告致します。

7月7日(金) 歯車会が無事終了しましたが、我々のクラブの太田忍君が、何と優勝されました。大きな景品を授与されております。どうぞ、皆さんの拍手をお願いします。

終了後の懇親会は、6:30分より開催され、和気あいあいと愉快的な会になりました。

次回は当クラブが世話役クラブになるようです。

## ☆入会挨拶

新入会員 中原 真二 君

7月1日付けで入会致しました、中原真二と申します。

よろしくお願い致します。

早速ですが、自己紹介をさせていただきます。

昭和31年6月11日に宮崎・鹿児島熊本の3県の県境に位置する、えびの市真幸(京町温泉郷)で生を受けました。

真幸小・中学校・栗野工業高等学校を卒業後、三宝伸銅工業株式会社(大阪堺市)に就職、ここでは銅及び銅との合金で出来る製品(銅板・銅線・黄銅板・銅食器・10円玉・5円玉)の製造でした。

5年間ほど、大阪近辺にいましたが、その後、故郷えびの市に帰り、えびの電子工業(株)に入社しました。えびの電子工業(株)に在職中に社長より、知人が新しく電子部品の会社を創るので、責任者になってもらえないかと話があり、

(株)エム・エレクトリックに入社しました。立ち上げより15年間勤務しましたが、初代エム・エレクトリック社長の山下社長(現ジェー・イー・エス社長)より話があり、昨年7月に(株)ジェー・イー・エスに入社し、現在に至っています。

次に会社の紹介をさせていただきます。

業務内容は、電子部品製造で、ハイブリットICと光ファイバーの部品を製造しております。

簡単に説明いたしますと、

ハイブリットIC(Integrated Circuit)とは日本語では、混成集積回路という意味です。セラミック基板上にスクリーン印刷法という方法で、電子回路を

印刷し、その上にチップ部品(コンデンサー・トランジスター・ダイオード・モノリシックIC)を搭載したもので、テレビ・ビデオ・携帯電話・車の制御等の部品として使われています。

光ファイバーの部品は、光信号を電気信号に変換、又、電気信号を光信号に変換する部品です。

現在インターネットサービスが多様化する中で、光アクセスは急速に発展していくと言われてしています。

以上、自己紹介と簡単に会社の紹介をさせて頂きましたが、今後、当ロータリークラブの会員として、一生懸命努力していく所存でございますので、何卒、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

## 「米百俵」の教訓

町づくりは、人づくりのお話なし。

戊辰戦争で敗れた長岡藩、敗戦の惨状を見かねて、支藩の三根山藩から百俵の救援米、これを処理する責任者は藩士小林虎三郎、救援米はそっくり学校建設に回すと決定をした。

窮乏する藩士たちは殺気だった。

今にも斬りつけんばかりの藩士たちに「家中の者が今どんなに困っているか、おれは知らないわけではない、がただ食いつぶしてしまいたくないのだ。この百俵学校を建て、子供を仕立てあげ、しっかりした人物を養成すれば、今はただの百俵だが、後年には一万俵になるか、百万俵になるかはかり知れない、その日暮らしては、長岡は立ち上がれない、新しい日本は生まれないぞ」と、山本有三「米百俵」より